

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 ロゼッタ柴原

保護者等数(児童数) 3

回収数 2

割合 67 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	1	1			スペース的に少し狭い と思います	整理整頓を行う。資源をできるだけ倉庫へ片しスペースを作れるように心がけている。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	2					
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2					
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	2					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	2					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	2					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		2			コロナ禍だったので無 かったと思います	交流会は取れていない。利用者が通っておられる保育所があれば交流していきたい。
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	2					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	2					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている		2				
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	2					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	2					
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている		2				
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	2						

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	2					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	2					SNS・ホームページなどを活用して活動の様子を発信している。ロゼッタ通信も発行している。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	2					
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	2					
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	1	1				ロゼッタ通信で避難訓練の様子をお知らせしている。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	2					
	23	事業所の支援に満足している	2					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	3	利用者が多い時は狭く感じる。整理整頓に心がける。倉庫も活用してスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	1	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	1	タイルマットの洗浄を行う必要がある。バリアフリーになるよう玄関の段差は△マットを使用してバギーが入りやすいようにしたり、スタッフ二人で介助している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	2	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	0	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	3	今後検討していきたい
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8	0	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	3	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	0	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7	1	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	4	支援終了時に打ち合わせができない時はband(スタッフ間で情報共有するツール)で情報共有を行っている。個別で話し合う必要がある時は会議を開催している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	1	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	1	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8	0	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8	0	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	1	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	0	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	6	交流は出来ていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	3	管理者が参加しているが、会議の時間帯スタッフ不足の時は参加出来ていない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	5	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	0	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	7	そもそも交流をしたいと思っている保護者が少ない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	0	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	0	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	5	マニュアルの見直しは必要である。年に数回避難訓練を行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	0	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8	0	身体拘束をやむを得ず行う時は、日々の記録に記載し、支援計画にも記載している。また身体拘束適正化委員会を3ヶ月毎に行い、拘束の見直しを検討している。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表：2024年 3月 29日

事業所名 ロゼッタ柴原

保護者等数(児童数) 10 回収数 9 割合 90 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1			やはりもう少し広いと良いなと思います	出来るだけスペースを確保するようにしています
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8	1			詳細をよく知りません	通信を発行してスタッフ紹介を行っている
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	1			詳細を確認していません	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	9					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9				力を入れてくださっていると思います	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	5	1			
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9					
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	4	4		親同士の交流はうちは特に必要ないと思っています	保護会は行っていません
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	2			苦情があったかがわかりないので	苦情には迅速に対応しています
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9					
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9					
14 個人情報に十分注意しているか	9						
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9					
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	2			詳細をよく知りません	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	9					
	18 事業所の支援に満足しているか	9					

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせで実施されることが想定されている。

## 事業所職員向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		3	利用者が多い時は狭く感じる。整理整頓に心がける。倉庫も活用してスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	7		1	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7		1	タイルマットの洗浄を行う必要がある。バリアフリーになるよう玄関の段差は△マットを使用してバギーが入りやすいようにしたり、スタッフ二人で介助している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7		1	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8		0	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8		0	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5		3	今後検討していきたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		0	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8		0	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		3	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8		0	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8		0	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8		0	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	8		0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8		0	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		4	支援終了時に打ち合わせができない時はband(スタッフ間で情報共有するツール)で情報共有を行っている。個別で話し合う必要がある時は会議を開催している。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		1	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8		0	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	8		0	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7		1	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8		0	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	8		0	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7		1	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7		1	卒業後生活介護のサービスへ移行するので、ロゼッタ内でのみ情報共有している
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8		0	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2		6	交流は出来ていない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5		3	管理者が参加しているが、会議の時間帯スタッフ不足している時は参加出来ていない
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		0	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3		5	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		1	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1		7	交流しなくて良いと思っている保護者がいます

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		0	
	35	個人情報に十分注意しているか	8		0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8		0	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3		5	マニュアルの見直しは必要である。年に数回避難訓練を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		0	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8		0	身体拘束をやむを得ず行う時は、日々の記録に記載し、支援計画にも記載している。また身体拘束適正化委員会を3ヶ月毎に行い、拘束の見直しを検討している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8		0	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8		0	